

機械系企画

シンポジウム『若い実践技術者にいかに安全の責任を教えるか』

未曾有の東日本大震災をきっかけに、福島原発事故が日本を震撼させています。これを発端に、日本人の安全意識に変化が生じています。特に、産業界の安全に対する考え方が大きく変化しています。

我々、職業訓練を担う者としてこれからの若い実践技術者に対し、いかにものづくりに対する安全の責任の考え方を持たせるかが、緊急の課題となっております。長年、労働省産業安全研究所、大学等で安全工学をご専門としてこられた杉本 旭氏において頂き「若い実践技術者にいかに安全の責任を教えるか」との基調講演、そして機構立と県立の大学校や、企業の指導者から現状のものづくりの中の安全教育をそれぞれの立場から発表して頂き、会場の皆様方との意見交換の中から将来へ向けた若い実践技術者にいかに安全の責任を教えるべきかを考えてまいります。

【日時】 平成23年10月1日(土) 10:00 ~ 12:15

【場所】 千葉職業能力開発短期大学校 千葉キャンパス

【パネラー】

- ・明治大学 理工学部 機械工学科 教授 杉本 旭 氏
- ・職業大 東京校 生産機械システム 講師 中村 瑞穂 氏
- ・山形県立産業技術短期大学校 機械システム系 教授 来次 浩之 氏
- ・日本アイ・ビー・エム・サービス(株)

マネージャーコンサルティングITS 三嶋 幸彦 氏

【司会進行】

- ・関東職業能力開発大学校 生産技術科 教授 菅野 金一

【シンポジウムの論点】

- ・若い実践技術者にいかに安全の責任を教えるか (基調講演)
- ・現状の実践技術者への安全責任の教育は
- ・将来の実践技術者への安全責任教育はどうあるべきか

